

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課長  
各都道府県私立学校事務主管課長  
各国公立大学法人附属学校事務主管課長 殿  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を  
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課長

文部科学省初等中等教育局教育課程課長  
武 藤 久 慶

令和6年度「英語教育実施状況調査」の結果を踏まえた  
生徒の英語力向上に向けた取組の推進等について（通知）

このたび、令和6年度「英語教育実施状況調査」（以下「本調査」という。）の結果を取りまとめ、公表しました。本調査の実施に当たっては、多大なる御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございました。

本調査結果において、中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上・B1レベル相当以上を達成した中高生の割合は、前年度よりも増加しました。

第4期教育振興基本計画（令和5～9年度）では、中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を国全体で6割以上、高等学校卒業段階でCEFRのB1レベル相当以上を達成した高校生の割合を国全体で3割以上にすることを目標としており、その達成に向けては、引き続き生徒の英語力向上に向けた取組が必要です。

また、当該計画では、「全ての都道府県・政令指定都市において、中学校卒業段階でCEFRのA1レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合を5年後までに5割以上にすることを目指す」としていますが、生徒の英語力には依然として自治体間の差が見られるところであり、各自治体における取組の加速が必要です。

生徒の英語力向上に向けて、特に生徒の英語力に課題が見られる都道府県・政令指定都市（以下「都道府県等」という。）におかれては、別添1に示す自治体の取組を積極的に取り入れるなど、取組を加速いただきますようお願いします。なお、「英語教育改善プラン」については、従来1月に策定依頼を発出していたところですが、各自治体における検討期間を十分に確保し、次年度の取組に資するものとするため、令和8年度「英語教育改善プラン」については策定依頼を秋頃とし、年度内を目途にご提出いただくことを検討していることを申し添えます。

つきましては、各都道府県教育委員会等におかれては、次に掲げる表のとおり、下記の事項について周知していただくとともに、それらも活用しながら英語教育のより一層の改善・充実に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、今後、都道府県等ごとに経年比較等を行った資料を参考資料として送付予定であることを申し添えます。

周知元	周知先
都道府県教育委員会	所管の学校及び域内の市(指定都市を除く。)区町村教育委員会
指定都市教育委員会	所管の学校
都道府県私立学校事務主管課及び構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課	所轄の学校
国公立大学附属学校事務主管課	設置する附属学校

## 記

### 1. 令和6年度「英語教育実施状況調査」の分析結果等について

本調査結果(参考1)において、英語力の向上には、生徒の英語による言語活動、教師の英語使用・英語力、ALTとの授業外活動等が影響を与えており、また、ICTでの遠隔地とのやり取りやALTによるフィードバックが効果的であることが示されています(別添1)。また、小中連携や英語力向上に向けた各自治体の取組例等も掲載しております。これらも踏まえつつ、各教育委員会において、域内の学校における課題を十分に分析の上、英語教育の改善・充実に向けた取組を一層進めていただきますようお願いいたします。

### 2. AIを活用した英語教育について

AIを活用した英語教育の実践について、令和6年度「デジタル技術を活用した発信力強化事業」の成果や動画を公表したところであり、英語力の向上等につながった事例も見られるところです(参考2)。また、今年度は「AIの活用による英語教育強化事業」を実施しており、今後、当該事業における教員向けの勉強会動画の配信等を予定しておりますので、各学校において積極的にご覧いただきますようお願いいたします(別添2)。

### 3. 文部科学省CBTシステム(MEXCBT)の活用について

英語4技能で特に課題となっている「話すこと」「書くこと」の力の強化に向けて、昨年度、MEXCBTにCEFRレベルと紐づけたCBT問題を100問搭載したところであり、CEFRレベルや技能ごとに問題を抽出することや、1技能10分から20分で測ることも可能となっております。このたび活用事例を公開しましたが、抽出された問題例

(CEFRのA1レベル未満～A2レベル相当)や、その所要時間も掲載しております。本事例も参考にしながら、各学校における授業・家庭学習・パフォーマンステスト等の実施及び英語教育実施状況調査における生徒の英語力の判断の際にも積極的に活用いただきますようお願いいたします（別添3）。

#### 4. 小・中・高等学校教員を対象とした英語資格・検定試験の特別受験制度について

英語資格・検定試験の特別受験制度（参考3）については、4月に周知しましたとおり、今年度から一部団体において対象者や割引金額を拡充していただいたところです。また、このたび試験実施団体の追加がございましたのでお知らせいたします（別添4）。教師の英語力が生徒の英語力に影響を与えているという調査結果も示されていることから、各教師の英語力向上に向けて、特別受験制度の積極的な活用を図っていただきますようお願いいたします。

#### 5. 小・中・高等学校の英語の授業・解説動画の掲載について

各学校における授業改善の一助となるよう、小・中・高等学校の英語の授業・解説動画を、文部科学省YouTubeチャンネル「mextchannel」に掲載していますが、4月に周知しましたとおり、新たに4本の動画を掲載しております（別添5）。各教育委員会及び学校における研修等において、積極的に活用いただきますようお願いいたします。

#### <別添資料>

別添1：令和6年度「英語教育実施状況調査」の抜粋

別添2：「AIの活用による英語教育強化事業」の実施状況について



別添3：英語力向上に向けた MEXCBT 活用事例について



別添4：【事務連絡】小・中・高等学校教員を対象とした英語資格・検定試験の特別受験制度について

別添5：「外国語教育はこう変わる！」掲載動画（令和7年4月）について

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>



#### <参考資料>

参考1：令和6年度「英語教育実施状況調査」の結果について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1415043\\_00013.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415043_00013.htm)



参考2：デジタル技術を活用した発信力強化事業について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1415043\\_00007.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415043_00007.htm)



参考 3 : 小・中・高等学校教員を対象とした英語資格・検定試験の特別受験制度について  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1415043\\_00006.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415043_00006.htm)



【本件担当】  
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課  
外国語教育推進室 企画調整係  
TEL : 03-6734-3787  
E-mail : josui@mext.go.jp

- ①：CEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合（R6-R5）  
 ②：CEFR A2レベル相当以上を達成した高校生の割合（R6-R5）  
 ③：CEFR B1レベル相当以上を達成した高校生の割合（R6-R5）

### 福岡県

①：+11.3%、②：+1.9%、③：+0.6%

- R5全国学調の結果を分析し、「聞くこと」が十分できていない、日本語での解説中心の授業が見られる等の課題を可視化。
- **生徒の英語使用、デジタル教科書を活用した音読、授業冒頭のSmall Talkを増加するプロジェクトを推進。**
- 県主催で研修を実施し、受講者が地域の研修会等で共有。

### 高知県

※文科省R6委託事業

①：+8.1%、②：+3.2%、③：+1.1%

- **大学の有識者に、県の状況の分析や事業の計画時点からの助言を依頼。**生徒の英語使用が不十分等の課題と、ALTの参画が豊富等の強みを可視化。
- **言語活動の質の向上、小中高の接続等に取り組む研究推進校を設定。**
- **全中学校への指導主事訪問や全中学校1名（悉皆）参加の研修。**
- **地域の魅力を子供が英語で発表する取組を実施（5市町、14小中高から参加）。**

### 京都府

※文科省R6委託事業

①：+10.6%、②：+4.7%、③：+3.7%

- 英語を学ぶ意義を実感できるよう、台湾の中学生と**オンライン交流**し、英語で「地域のおすすめの場所」等を紹介。
- 交流前の練習や交流後の復習として、**AIを活用した会話・発音練習**を実施。

### 岡山県

①：+2.3%、②：+1.1%、③：+0.3%

- **MEXCBT「話すこと」の問題を中学生に配信（自分の英語力に応じた問題を選択）。**県作成のワークシートを活用し、**生徒がサンプルアンサーと自分の解答を比較し、自身で改善点を見つけて表現を見直せるようにすることで、スピーキング力と自己調整力の向上につなげた。**

### 福島県

①：+2.4%、②：+5.3%、③：+0.7%

- 大学の有識者に依頼し、県の状況を独自に分析。ALTが生徒の英語力や教師の英語力・英語使用に好影響を及ぼしていることを明らかにした。これを踏まえ、**教師の効果的な英語使用等に関する研修・教師のCEFR B2相当以上の取得補助**を実施するとともに、**ALTを増員。**

# 生徒の英語力が高い自治体の取組例

## 福井県

### 【授業改善】

- 学習指導要領で「英語で授業をすることを基本とする」と明記される（※）以前から授業を英語で行い、生徒が意見や考えを英語で表現するなどコミュニケーションを重視した授業を実践。（高校はH21改訂、中学はH29改訂から）
- 県内の中学校・高等学校の全ての英語教員が会員となる研究会（福井県英語研究会）があり、英語弁論大会、英作文コンテスト（高等学校）、英語セミナー等の企画・運営、リーディング・リスニングテストの作成、英語教育の研究活動等を実施。
- 県教委と福井県英語研究会や県中教研英語部会が連携。県内各ブロックリーダーと定期的に情報交換を行い、好事例を共有。

### 【外国語指導助手（ALT）の活用】

- 全ての中学校・高等学校にALTを配置。JETの任期終了者の中で優れた者を県独自のALTとして採用。
- 英語の授業以外の活動にもALTが積極的に参加。

### 【その他】

- 外部検定試験の全額補助（全中3対象）。外部検定試験の結果分析等をもとに、指導の好事例や改善点を共有。
- ディベートを取り入れた授業や英語ディベート大会などを実施。高等学校専門学科でのパフォーマンステストの充実のため、「ふるさとツーリズム英会話検定」を導入（生徒が福井の観光地を紹介する動画を提出し、ALTとの対面試験を実施）。

## さいたま市

### 【授業改善等】

- 小1～中3まで教育課程特例校。市独自の小中一貫カリキュラム「グローバル・スタディ」の授業時数を増加。市独自の教材作成（小1～小6向け）や「グローバル・スタディ」の理念・指導法を教師に理解してもらう研修等を実施。

### 【外国語指導助手（ALT）等の活用】

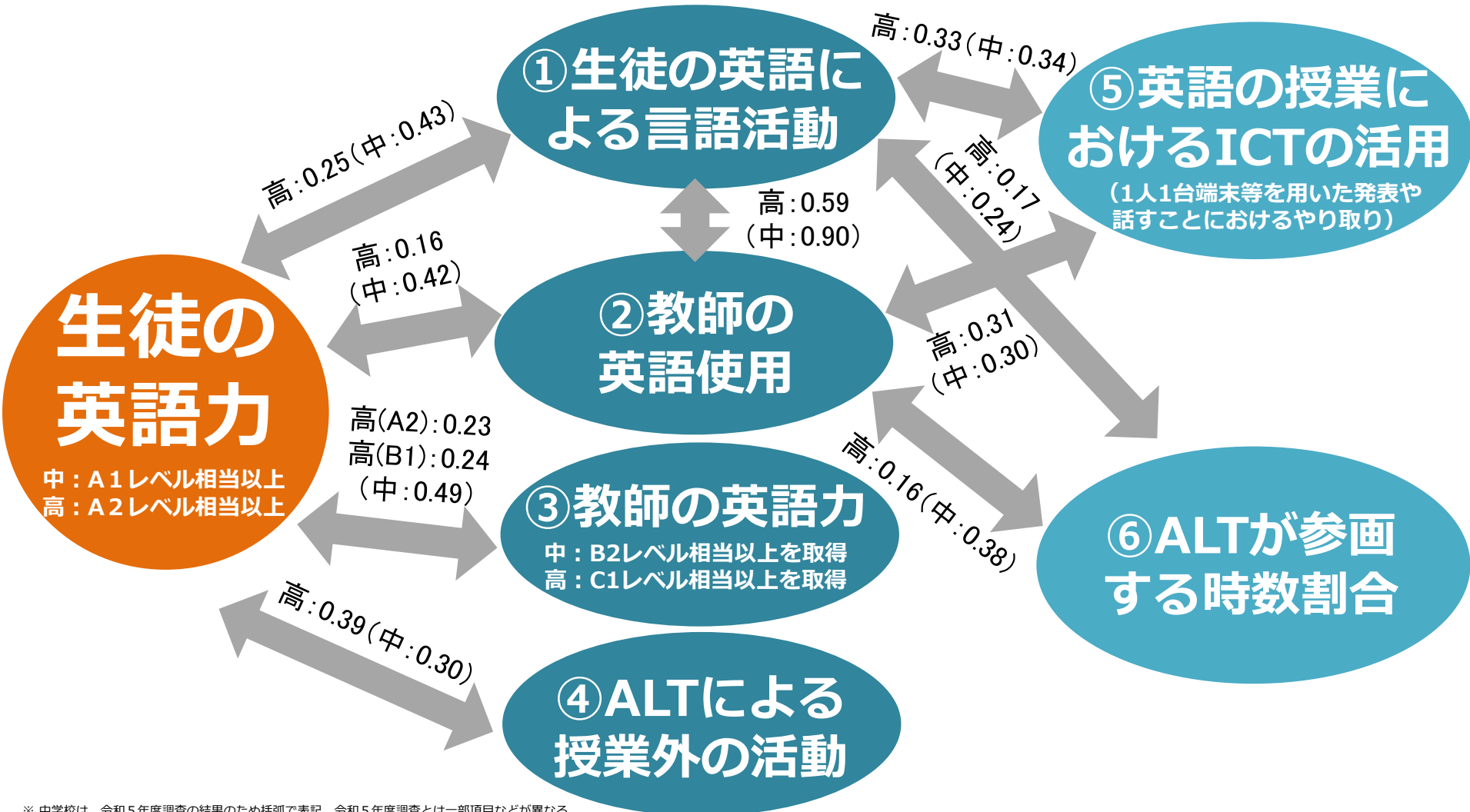
- 市独自でALTを採用し、全ての小・中・特別支援学校に配置。小学校の授業においては複数の教員（担任教師、専科教員、グローバル・スタディ科非常勤講師、ALT等）による指導を実施。

### 【その他】

- 中学校で外部検定試験を活用し、結果分析をもとに教師の授業改善と生徒の学習改善のための研修会を実施。
- ディベート大会やイングリッシュ・キャンプ、海外の学校とのオンライン交流など、授業外での体験活動を充実。

# 生徒の英語力に影響を与える諸要素（高等学校）

- 生徒の英語力には、**英語による言語活動**、**教師の英語使用・英語力**、**ALTとの授業外活動**等が影響  
（高校生のCEFR B1レベル相当以上の取得割合増加には、教師のCEFR C1レベル相当以上の取得が影響）
- **ICT活用**や**ALT参画**が、**言語活動**や**教師の英語使用の充実に影響**



※ 中学校は、令和5年度調査の結果のため括弧で表記。令和5年度調査とは一部項目などが異なる。  
 ※ 数値は相関係数（いずれも中学校は都道府県単位、高等学校は学校単位。相関係数はすべて5%水準以下で有意（いずれも両側））。  
 ※ 生徒の英語力については、中学校：CEFR A1レベル相当以上の割合、高等学校：CEFR A2レベル相当以上の割合を基に算出（ただし教師の英語力との相関は、高等学校ではCEFR B1レベル相当以上の割合についても算出）  
 ※ 生徒の英語による言語活動は、中学校：生徒の英語による言語活動が50%以上の学校の割合、高等学校：生徒の英語による言語活動の割合を基に算出。  
 ※ 教師の英語使用については、中学校：英語担当教師の英語による発表が50%以上の学校の割合、高等学校：英語担当教師の英語による発表の割合を基に算出。  
 ※ 教師の英語力については、中学校：CEFR B2レベル相当以上の割合、高等学校：CEFR C1レベル相当以上の割合を基に算出。  
 ※ ALTによる授業外の活動は、中学校：一定の目的を持った授業外での教育活動の割合、高等学校：授業外での教育活動のうち、定期的に実施する活動の割合を基に算出。



# ICT活用やALTが生徒の英語力に与える効果

- ICTの活用、ALTの参画に関わるほぼすべての活動で効果が見られたが、特にALTの授業内での活動（例：ALTが生徒の発言にフィードバックする活動等）やICTでの遠隔地とのやり取りは、生徒の英語力に効果
- 生徒がICTを通じて実際に英語を使う機会を設けることや、ALTが生徒の発言にフィードバックすることが、指導上も重要

## 【グラフの見方】

例えば、ALTによる「生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック」の実施状況が一段階高い学校は（例：「50～75%の授業」→「75%以上の授業」）、CEFR A1以上割合が1.18%高い

4: 75%以上の授業で実施  
3: 50～70%の授業で実施  
2: 25～50%の授業で実施  
1: 25%未満の授業で実施  
0: 実施していない

生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック

1.18 %高い

やり取り・発表のモデル提示

0.99 %高い

パフォーマンステスト等の補助

0.76 %高い

生徒のやり取りの相手

0.66 %高い

発音のモデル・発音指導

0.56 %高い

電子メールやSNS、チャットでやり取り

1.24 %高い

発話や発音などの録音・録画

0.76 %高い

1人1台端末を用いて発表や話すことにおけるやり取り

0.75 %高い

学習者用デジタル教科書を活用

0.64 %高い

デジタルドリルや動画のコンテンツを活用

0.57 %高い

1人1台端末を活用

0.52 %高い

ALT  
(授業内)

ICT  
(授業内)

枠間では数値の大きさの比較はできない

## 【グラフの見方】

例えば、ICTを用いた「遠隔地の生徒等と英語で話す活動」の実施状況が一段階高い学校は（例：「半年に1回以上」→「月1回以上」）、CEFR A1以上割合が1.34%高い

4: 週1回以上  
3: 月1回以上  
2: 半年に1回以上  
1: 年1回以上  
0: 実施していない

一定の目的を持った授業外での教育活動

0.92 %高い

英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流

0.52 %高い

遠隔地の英語に堪能な人との個別会話

2.21 %高い

遠隔地の生徒等と英語で話す活動

1.34%高い

遠隔地の教師やALT等とティーム・ティーチング

1.04 %高い

ALT  
(授業外)

ICT  
(遠隔地)

※ R5英語教育実施状況調査とR5全国学力・学習状況調査を活用し、ICT・ALTの活用等がCEFR A1レベル相当以上を達成した中学生の割合の向上に与える効果を分析。具体的には、R5全国学力・学習状況調査の英語に関する項目のうち、CEFR A1以上割合の予測に有効であった5つの要素：正答率\_英語（聞く、読む、書く）、正答率\_英語（話す）、生徒\_英語への関心等4項目（生徒質問紙59～62）平均、生徒\_言語活動7項目（生徒質問紙66～72）平均、学校\_言語活動7項目（学校質問紙59～65）平均を統制変数とした上で、R5英語教育実施状況調査における各項目を独立変数に投入する階層的重回帰分析を用いて検討（正答率は第3学年4月の状況、その他は第2学年までの学習・指導状況。）。  
※ 数値（非標準化係数）が大きいほど生徒の英語力に与える影響が大きい。それぞれの活動の取組状況への回答が一段階高い学校は、CEFR A1割合がその数値分高いことを意味する。上記はすべて5%水準で有意。  
なお、キーボード入力等で書く活動の数値は0.25であった。  
※ 各枠内は回答単位が同一のため比較可能だが、枠間では比較はできない。  
※ 学校単位（中学校第3学年の生徒数21名以上）で分析。



- 採択団体：46団体
- 採択団体による中間報告や成果報告、リーダー向け勉強会を実施する予定

## 事業の全体スケジュール

採択団体向け「事業開始に向けた手引書ver.1.1」より

時期	内容
5月20日（火） 21日（水）	採択団体キックオフ（採択団体・アドバイザー対象。事業を進める為の確認事項、アドバイザー顔合わせ。）（オンライン開催）
7月中旬～8月頃	中間報告会（オンライン開催）
2月中旬	成果報告会

## AI英語活用リーダー向け勉強会

採択団体向け「事業開始に向けた手引書ver.1.1」より

時期	内容
5月21日（水）15時30分～16時30分【済】	AI英語活用リーダー向け勉強会①（R6実証事例の紹介）
6月18日（水）15時30分～16時30分【済】	AI英語活用リーダー向け勉強会②（AIを用いた指導のポイント）
7月23日（水）15時30分～16時30分	AI英語活用リーダー向け勉強会③
8月20日（水）15時30分～16時30分※仮	AI英語活用リーダー向け勉強会④
9月17日（水）15時30分～16時30分※仮	AI英語活用リーダー向け勉強会⑤
10月15日（水）15時30分～16時30分※仮	AI英語活用リーダー向け勉強会⑥
11月19日（水）15時30分～16時30分※仮	AI英語活用リーダー向け勉強会⑦
12月17日（水）15時30分～16時30分※仮	AI英語活用リーダー向け勉強会⑧
1月21日（水）15時30分～16時30分※仮	AI英語活用リーダー向け勉強会⑨

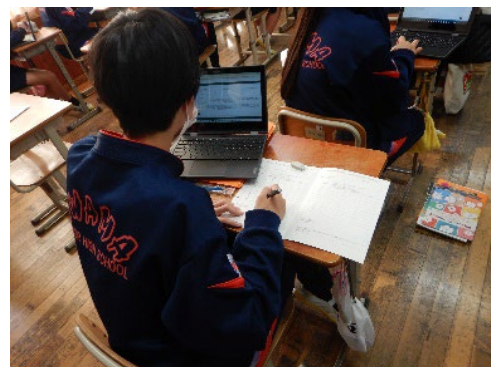


### 茨城県での活用はこれだ！

#### 【授業での活用場面】



#### 【放課後学習の場面】



#### ■授業時における協働的な学びを生かした取組

【学年・実施時期】 中学2年生 11月

【単元の目標】 書くこと（イ）※学習指導要領の目標

【活用方法】 単元内の学習の一環としてMEXCBT

（書くこと2\_4）を活用

※単元末に別途パフォーマンステスト実施

①配信された課題を個人で解答

②言語面について生成AIで確認

③内容面についてペアやグループで確認

④英作文の推敲・再構成 ➡ 提出

後日、パフォーマンステスト実施（CBT）

#### ■放課後学習における個別最適な学びの取組

（放課後学習…教育課程外に設定 冬季に週1回30分間実施）

【学年・実施時期】 中学2年生 12月

【活用方法】 ①教師が基礎問題、発展問題を配信

②各自選択し解答（自分のCEFRレベル）

※県で実施しているアセスメントテストを参考

③振り返りをワークシートに記入

（解答状況、使用した表現など）

④再挑戦（家庭での学習含む）



#### 生徒の声・反応

「MEXCBTは英語学習に効果的であった」と回答した生徒の割合（中学2年生 101名）

時期	11月	12月	1月
%	37.5	62.5	93.6

○簡単な問題から難しい問題まであるので、家庭学習でも使えそう。

○自分の実力にあった問題ができるから良い。

○何度もチャレンジできるところが良い。

○正答か誤答かの判定やフィードバックがないため、生成AIを活用し自分の英文を確認した。



#### 教師の声・反応

・単元の学習内容とMEXCBTとの関連を重視して、中学2年生を対象に主に書くことに取り組んだ。

学年・単元名（主な文法事項）	活用できるMEXCBT問題例
Unit5 Universal Design	書くこと1_1、1_2
Stage Activity3	書くこと2_5

・問題の難易度が幅広いので、外部検定試験の受験対策にも効果的である。英検準2級（2級）を受験予定の生徒がCEFR A2レベルの問題に取り組んでいた。



#### 教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

MEXCBTの仕組みや使用方法、搭載された問題等が分からない。

MEXCBTを授業中や家庭学習等で、どう活用することが効果的なのか分からない。

令和8年度全国学力・学習状況調査がCBT形式で実施される。MEXCBTを活用して何か手を打てないだろうか。

MEXCBTについて理解してもらう機会の創出

・研修会の開催（県教育研修センター、各自治体）

・教育事務所担当者にアカウント付与➡学校訪問で実演

好事例を広く周知（オンラインでの呼びかけを含む）

・指導主事向け研修会 ・英語教員向け研修会

令和8年度全国学力・学習状況調査に向けた取組

・CBTによる定期テスト問題の参考例として周知

・各研修会でCBT問題の活用に向けた協議

# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 埼玉県ver.



## 埼玉県での活用はこれだ！

### 話すこと【発表】と書くことの領域を統合し、発信力の向上を目指す取組（中学2，3年生）

#### STEP1【話すこと 1回目】

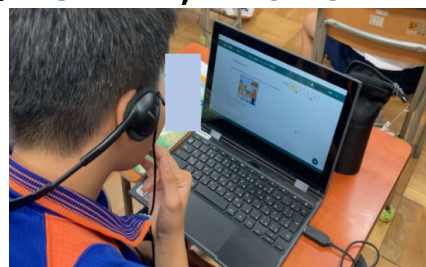
- ・実際に録音しながら、話すことの問題1-1（全6問）に取り組む。
- ・解説を読んで、分からないことなどを生徒同士で話し合う。

活動の振り返りで、「モデルアンサーのように、1文を加えて答えられるようになりたい！」という生徒の声が多くあった。

（次時より）

- ・帯活動として、搭載問題を活用して1問ずつ、話す活動としてPicture Descriptionを行う。

内容面を中心に指導する。



【話すことに取り組む場面】

#### STEP2【書くこと】

- ・帯活動として、書くことの問題1-1（全10問）の絵を使って、毎時間1，2問ずつPicture Descriptionを行う。2年生は、授業中に話す活動を行い、家庭学習で英文を書き、学習支援ソフトを使って提出する。3年生は、授業中に話す活動から書く活動まで行う。

内容面と言語面から振り返り、指導する。



- ・（家庭学習）授業の帯活動で7時間かけて全10問に取り組んだ後に、書く活動として個人で問題（1-1）に取り組む。

#### STEP3【話すこと 2回目】（STEP1から約1か月後）

- ・話すこと1-1に再度取り組む。（プラス1の文は、モデルアンサーと同じものでなくてもよい）
- ・（家庭学習）授業中に自分が録音した英文を書き取り、学習支援ソフト等を使って提出する。
- ・（後日、授業中）友達が書いた英文を読み合い、今後活用できる表現をメモに残しておく。

生徒の書いた英文で共通して見られた誤りについて、学級全体で指導、練習する。



## 生徒の声・反応

- ・質問の意味はわかって、答えるのが難しかったです。海外の人と話す時にこういう力はとても大切だと思うので、たくさん練習していきたい。
- ・正確な文法がすぐに出てこなかったり、単語が思い出せなかったりしました。対人ならジェスチャーなどで乗り越えられそうだけど、録音になると正確性が求められるので即興で話す練習がもっと必要だと思った。



## 教師の声・反応

- ・4技能の問題があるのはとてもありがたい。特に「話すこと」について、対人で会話する機会はもちろん、パソコンに向かって話す機会を増やしていくことで英語力が磨かれると思う。
- ・日頃からスモールトークなどを実施しているので、1回目から3年生はかなり積極的に取り組んでいた様子がある。2年生にはまだ、レベルが高いと感じた。



## 教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

レベルの高い問題も多く、モデルアンサーが生徒の実態に合わない。

「読むこと」の問題に良問があるが、授業内での時間の確保が難しく、生徒の習熟の程度の差も心配である。

上述のように、時間をおいて、2回取り組ませることで生徒は成長を実感していた。問題をいきなり解くのではなく、学級で確認した後に取り組ませたり、生徒同士で話し合いを行わせたりしながら取り組んだ。

3年生の英語学習に関心の高い生徒から、たくさんの英文を読んでみたいという声があったので、いくつかの問題を指定し、読むことの問題に挑戦するよう助言した。休み時間に問題に関する疑問や質問などを尋ねたり、英文のトピックについてALTに意見を聞いたりする生徒の姿が見られた。



# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.



## 山梨県での活用はこれだ！

### 【MEXCBT活用場面】



#### ①イラストについて T-Sインタラクション



#### ②個々で 解答を吹き込む (書き込む)



#### ③サンプルアンサー を確認



### ■場面や状況を捉え、即興で話す力の向上を 目指す取組 「話すこと」(1\_1・1\_2)

#### 帯活動における指導の流れ

- ①イラストについてT-Sインタラクション
    - ・学級全体で、イラストからわかることや想像できることについてやり取りする。
    - ・生徒とやり取りをしながら、考えや表現を引き出したり、正確性に気付くよう促したりする。
  - ②個々で解答を吹き込む(書き込む)
    - ・質問の主となる解答だけでなく、①でやり取りをしたことを基に、より詳しく話す(書く)ことを促す。
    - ・問題によっては、イラストの説明だけでなく、自分の考えを加えることも可能であることを伝える。
  - ③サンプルアンサーを確認
    - ・自分の解答と比較し、気付きを促し、自己評価させる。
    - ・その他の解答や付け足した情報について、共有する。
- ※家庭学習でも同じ問題に取り組み、定着、改善を図る。



### 生徒の声・反応

- ・どんなときでも「相手の状況などを考えて伝える」ということを意識するようになった。
- ・自分が今どれくらいの英語が書けるか、話せるか知ることができ、自分の英語をブラッシュアップしたいと思った。
- ・時間制限があるので、最初は焦ったけど、その場で考えて話せるようになりたい、と思うようになった。
- ・サンプルアンサーに解説がついているので、今までより、主語や動詞、前置詞などに気を付けるようになったし、気が付けることも増えた気がする。



### 教師の声・反応

- ・ただイラストの説明を生徒と考えるのではなく、やり取りを通して、絵や写真から想像できる「場面・状況」を考えることで、生徒の発話内容が充実していった。
- ・パフォーマンステストでの場面設定や状況を意識して取り組む生徒が増えた。
- ・時間制限が即興性を意識させるきっかけにもなった。
- ・振り返りの視点やサンプルアンサー以外の解答例の提示に苦労したが、自己調整力の向上につながる教材として活用できる。



### 教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

そもそも、MEXCBTの使い方がわからない・・・配信の仕方、問題の選び方等

「話すこと」「書くこと」は自動採点されない・・・振り返りや評価はどうすればよい？

言語活動にどうつなげればいいのか・・・

・オンラインでの研修会で、問題の配信方法や、文科省提供問題の紹介。外部試験スコア等との紐づけや、帯活動での活用方法を提案。

・サンプルアンサーを振り返りの視点とするよう指導・助言。  
・学習支援ツールで自己評価、進捗、振り返り等を共有。  
・生成AI等を活用した添削の仕方を提案。

・使うことが目的ではなく、生徒の実態、単元の言語材料や題材等に応じて、練習に用いたり、パフォーマンステストに用いたりする言語活動の充実に向けた手段として提案。

# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.

## 別添資料① 帯活動としての活用例（抜粋）

…山梨県教育委員会作成

「話すこと」1\_1・1\_2 の活用例を提案

### 帯活動として 活用例



- ◆ 質問について、まずは生徒自身を考えさせましょう。
- ◆ 生徒とやり取りをしながら、考えや表現を引き出したり、正確さに気づくよう促したりしましょう。
- ◆ 文発話（文構造）の意識につなげましょう。



#### Day 1



What is the person doing?

Talking

Girl and man and woman

Yes, **they are** talking.

Are they in a same place?

She is talking with .... by ...

They use phone.

They are talking **on the** phone.

Anything else?

I think the man and woman are her grandparents.

The girl use a smartphone.

Yeah, it's possible.

Nice idea.  
The girl **uses her** smartphone.

Now, let's record your answer.  
You don't have to answer only one sentence.  
You can say as many sentence as you can.

They are talking on the phone.

The girl is talking with her grandparents.

The girl look happy.

### 帯活動として 活用例



- ◆ 既得の知識・技能と関連付けて指導しましょう。
- ◆ 特に言語面の中間指導を意識して行い、正確性を高めましょう。



#### Day 2



What is the boy doing?

He writing ...

picture

He has a paintbrush. So, ...

He is painting.

He has three brush.

What's 絵の具 in English?

Good. He is painting with his **brushes**.

You can say "paints."

Let's record!

#### Day 3



What is the person holding?

What is "holding"?

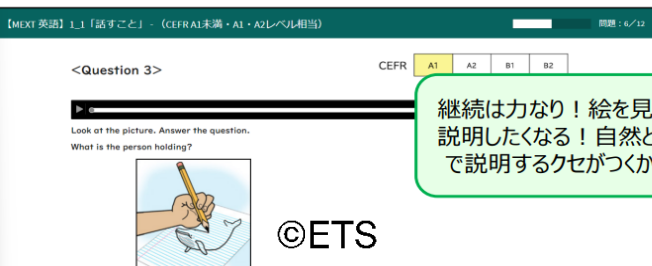
ホールド?

I'm holding a book in my hand.

So... he is holding a pencil.

He is painting a whale.

You know the word "whale." Nice!  
When we use a pencil, we say "write" or "draw."



継続は力なり！絵を見たら、説明したくなる！自然と英語で説明するクセがつかも！

©ETS

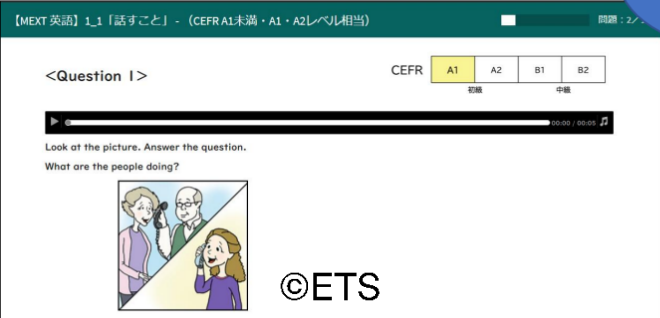
# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.

## 別添資料① 帯活動としての活用例（抜粋）

…山梨県教育委員会作成

「話すこと」1\_1・1\_2 の活用例を提案

### 帯活動として 活用例



2nd Round

What is the girl doing?

She talking

Yes, she is talking on the phone.

She is talking with ....

Grandpa and grandma.

Nice idea.  
She is talking with her grandparents.

Now, let's record your answer.

She is talking on her smartphone.

The girl is talking with her grandparents.

Homework

◆ 2週目はQuestionを変えてみたり、家庭学習で取り組ませたりして、繰り返し取り組める機会を設定しましょう。



単元の言語活動につなげる

単元内の活動との連携・身に付けさせたい力（場面や状況を捉える力、即興で伝える力）の強化

・パフォーマンステストに取り組む際に、課題の**場面設定や、伝える相手の状況等を捉えたり、推測**させたりする。

・相手への配慮をルーブリック評価に記述し、「相手が～な状況だったら」「～かもしれない」など、より**相手に配慮**した内容になるよう思考・判断・表現させる。

・**相手意識**の向上につなげる。

パフォーマンステストで



教科書で



・教科書題材の導入で、教科書内のイラストや写真から、場面・状況をT-SインタラクションやS-Sのペアトークで**やり取りを通して**、推測する活動。

・推測したことを、本文内容から確かめたり、本文を読んでわかることから、情報を付け加えて説明したり、やり取りをする。



# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.

## 別添資料② 「話すこと」（1\_1、1\_2）の問題を扱った単元指導計画例

### ■ 学年・単元名・領域：

中学2年生 Unit 4 Homestay in the United States 「話すこと〔発表〕」

### ■ 単元末のパフォーマンス課題：

ALTは自分の娘さん将来ホームステイをさせたいと思っています。ALTの娘さんが安心してホームステイをすることができるように、チェックリストを作成してアドバイス動画を送ろう。



相手の背景は？心配事は何だろう？どんな情報があれば安心する？

### ○ 帯活動 ● 主な言語活動

1	○MEXCBT問題 話すこと1_1(Question1) ●教科書本文全体の概要を、イラストや写真などをヒントに、教師とのやり取りを通して捉える。
2	○MEXCBT問題 話すこと1_1(Question2・3) ●教科書の表現を引用しながら、アドバイスを読んでわかったことを伝え合う。
3	○MEXCBT問題 話すこと1_1(Question4・5) ●教科書の表現を引用しながら、日本のhouse rulesについて伝え合う。
4	○Small Talk “Do you want to do a homestay?” ●教科書本文を読んで、登場人物の悩みについて、アドバイスを考え伝え合う。
5	○Small Talk “Are there any school rules?” ●教科書の表現を引用しながら、日本にホームステイに来る人へのアドバイスを考え伝え合う。
6	○Small Talk “Are there any house rules?” ●教科書の登場人物のホームステイ体験を読んで、学んだことや感じたことを伝え合う。
7	○Small Talk “What is important in a homestay?” ●パフォーマンス課題に取り組む。
8	●チェックリストとアドバイスを、クラスで共有し、友だちと読み合い、相互にコメントし合う。

### 帯活動における指導の流れ

①イラストについてT-Sインタラクション	・イラストからわかることや想像できることについて、やり取りをしながら、表現を生徒から引き出す。 ・T-Sだけでなく、S-Sでも取り組ませる。
②個々で解答を吹き込む	・やり取りしたことをもとに、解答する。 ・+ 1文や、自分の考えを加えて解答する。
③サンプルアンサーを確認	・サンプルアンサーと自分の解答と比較する。 ・その他の解答や、生徒からの気づきを全体で共有する。

☆教科書題材、本文の導入時にも、イラスト等からわかることをやり取りして、推測したり、場面や状況を捉えて表現する活動に取り組む。



# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 岡山県ver.



## 岡山県での活用はこれだ！

### ■生徒の自己調整力を高めるための取組

教師は「話すこと」(1\_1、1\_2、1\_3、2\_1、2\_2)の問題を5問配信し、生徒が自分の英語力に応じて、適切な問題を選択して取り組めるようにした。右図のワークシートで自己評価等を行わせた後、再度問題に取り組ませた。

生徒はサンプルアンサーと自分の解答を比較し、改善点を見つけて自身の表現を見直すことで、自己評価を軸とした学習改善サイクルを循環させていた。

### ■生徒が自分の考えなどを形成し再構築するための取組

事前学習として家庭で、「話すこと」(2\_1、2\_2)に取り組ませ、その内容と関連するテーマで授業中にやり取りを行わせることで、家庭学習と授業とのつながりを持たせた。

生徒はサンプルアンサーの英文や解説を参考にし、意見を述べる際に「比較」「考察」「例示」等の視点をもつことの重要性を理解するとともに、主張を支える根拠や情報を整理し、自分の考えを形成、再構築する機会とした。



### 【ワークシート：自己調整力の育成】

**STEP 1** [自己評価]  
・サンプルアンサーやスクリプトを10点として、自分の解答に点数をつけよう。 ⇒  点  
・なぜその点数にしたか、どうすれば10点になるかを記述しよう。  
〈なぜその点数にしたか〉  
  
〈どうすれば10点になるか〉

**STEP 2** [見通し]  
・次回の目標 ⇒  点  
・目標を達成するために、いつ、何をして、どんなことに気を付けますか。

**STEP 3** [行動]  
・自分の[見通し]を実行できましたか。 ⇒ ☐ はい ☐ いいえ

**STEP 4** [振り返り]  
・同様の問題の再挑戦の結果 ⇒  点  
・自分の力を高められたか、一言感想を書こう！

### 【やり取りにおける活用】



(岡山県立岡山操山中学校の取組から)



### 生徒の声・反応

- ・家庭で英語を話す相手がいないけども、英会話の練習ができるのが嬉しかった。
- ・サンプルアンサーの英文は難しく正直よくわからなかったが、解説を読んで、自分の発言において「比較」や「考察」ができていないことに気が付いた。
- ・言いたいことを英語で言えない時に、前よりも別の言葉でうまく言い換えられるようになった。
- ・繰り返し学習することで、話す内容がある程度頭に入ってきて、考えを伝えやすくなった。



### 教師の声・反応

- ・「自己採点」「自己調整」「自分のための学習」の視点で考えた時、本取組は生徒が自分で学びを進める力の向上に有効であった。
- ・サンプルアンサーから生徒の表現の幅が広まり、語彙力が高まっていると実感した。
- ・問いに対する答え方をサンプルアンサーを通じて学び、どのような内容や構成で伝えるべきかを考える機会となっていた。
- ・どの生徒も2回目に大幅に点数が伸びていた。



### 教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

採点機能がないため、サンプルアンサーだけではどの程度話せば「おおむね満足できる」状況かを判断するのが難しい。

「話すこと」(1\_1、1\_2)では、解答が短いためほぼサンプルアンサーの暗記のような活動になってしまう。

採点することを活用の目的とするのではなく、サンプルアンサーと自分の解答を比較することで改善点を見つけ、表現を見直すことで、自己評価を軸にした自己調整力を高めるツールとして活用を推進する。

「Make an original story」とすることで、単文ではなく、まとまりのある英文を伝える活動になる。例：「なぜ自転車に乗っているのか。」「これからどこに行こうとしているのか。」など、複数文で絵を説明する。

# 英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 香川県ver.



## 香川県での活用はこれだ！

【導入場面で個別に問題に取り組むようす】



### ■ 帯活動としての取組

対 象：中学 1 年生  
期 間：2 学期（9～12月）  
場 面：授業の導入時  
目 的：既習の言語材料（現在進行形）の定着を図る  
具 体：授業の帯活動として、MEXCBT問題の  
「1\_1 聞くこと」、「1\_1 読むこと」、  
「1\_1 話すこと」、「1\_1 書くこと」  
から毎時間 1 つずつ選択して取り組む

### 活用方法

- ① 1 回目は、聞→読→話→書の順で、全員が同じ問題に取り組み、スコアを記録
- ② 教師は、生徒の振り返りシート及び解答結果を確認
- ③ 教師は、多くの生徒に共通するエラーを全体共有
- ④ 2 回目は、個の課題に応じた問題を選択して取り組み、スコアを記録
- ⑤ 生徒は自身のスコアを比較し、どのような対策（学習）によってスコアが伸びた（停滞している）のかを記入
- ⑥ 教師は変容を見取り、個または全体へフィードバック

○生徒、●教師



### 生徒の声・反応

- 正解になると嬉しいので、2 回目は前回よりも良いスコアが取りたいと思うようになった。
- リード文が英語だったので、最初は戸惑ったが、回数を重ねるごとにスムーズに読めるようになった。
- speakingやwritingの問題では、正解かどうか判断が難しい問題があった。
- 1 問進むごとに解答と解説が表示されるが、1 回目はきちんと読んでいなかったもので、2 回目も同じ問題で間違えてしまった。振り返りシートには、解説の内容もメモをとるように工夫したい。



### 教師の声・反応

- 生徒はスコア判定を励みに、意欲的に取り組んだ。
- 実施日で一括検索ができ、個人のスコアや平均スコアを見ることができたので、指導の参考になった。
- 記述式問題では、複数の解答例が示されないものがあるため、解説を読んで、自分の英文が正しいか判断する力が必要である。判断に困っている生徒には、個別に指導した。
- 家庭学習でMEXCBTを活用するには、生徒が自走できるだけの英語力が必要と感じた。今回は、授業内で配信課題に取り組む活動に留まった。



### 教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

言語活動と関連付けて効果的に活用したいが、搭載問題を確認するための時間の確保が難しい。

生徒自身がよりよい学習方法を見出し、端末を用いて自学自習ができるように工夫したい。

【県教育委員会】 MEXCBT問題の早見表を作成し、学校へ提示した。（項目例）領域及びCEFRレベル、英検級レベル、設問数、所要時間、問題の形式、主な言語材料など【別添資料①参照】

【学校】 振り返りシートを活用し、同じ問題に繰り返し取り組むことで、生徒が自己の変容を実感できるように工夫した。エラーの内容、スコアの伸び等についても振り返るよう促した。【別添資料②参照】

【学校】 全体的に間違いの多かったMEXCBT問題に類似したイラストや教科書の既習ページのイラストを用いて、Picture Descriptionを取り入れた。練習する場面を確保して、2 回目の実施に臨んだ。

英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 香川県ver.

別添資料① MEXCBT問題早見表（一部）

問題	領域及びCEFR Lv.	英検級Lv.	設問数	所要時間(分)	形式	主な言語材料等	その他
【MEXT 英語】	1_1「聞くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	4	10	一問一答	現在／過去進行形、一般動詞過去形、bring 人 もの、tell 人 to do	
【MEXT 英語】	1_2「聞くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	4	10	まとまりのある文	不定詞、look 形容詞、think that、関係代名詞	語彙やや難解
【MEXT 英語】	1_1「話すこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	5	15	一問一答	現在進行形(What is ○○ doing?)	
【MEXT 英語】	1_2「話すこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	5	15	一問一答	現在進行形(What is ○○ like …?)、疑問詞	plant(名)、point(動)使用
【MEXT 英語】	1_3「話すこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	5	20	一問一答	不定詞の名詞的用法、動名詞、because、when、make O C	好きなものと理由を述べる
【MEXT 英語】	1_1「読むこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	6	10	一問一答	天気、現在進行形、場所を表す前置詞	above、drop(落とす)使用
【MEXT 英語】	1_2「読むこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	3	30	まとまりのある文	時間内に表示された英文(アナウンス)を音読する	語彙やや難解
【MEXT 英語】	1_3「読むこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	3	30	まとまりのある文	時間内に表示された英文(パッセージ)を音読する	語彙やや難解
【MEXT 英語】	1_1「書くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	10	25	単語の空所補充	3単現、現在進行形、不定詞の副詞的用法(最後の1問のみ)	文字数指定問題もあり
【MEXT 英語】	1_2「書くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	5	20	単語の並びかえ	現在進行形、fill with、make a turn	favorite(名)使用
【MEXT 英語】	1_3「書くこと」 (CEFR A1未満・A1・A2相当)	4-Pre2	5	20	英作文	現在進行形	

別添資料② 振り返りシート（一例）

Task	Round	Date	Score	Reflection	Words & Phrases
				★どのような間違いをしたのか、後から読んで分かるように書きましょう。 ★2回目は、スコアを伸ばすために頑張ったことなどをメモしておきましょう。	
1_1「話すこと」	1回目	9月20日	2/5	テニスをしている人が2人いたが、He isと説明してしまった。 次はThey areを使って説明できるようにしたい。	hold 手に持っている daughter 娘
1_1「話すこと」	2回目	9月27日	4/5	主語を意識しながら説明するようにしたら、前回よりもスコアが伸びた。 paintingが出てこなかったため、音読練習で復習したい。	paint 色をぬる
			/		
			/		
			/		

事 務 連 絡  
令和7年6月30日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課  
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課 御中  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた  
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局  
教育課程課外国語教育推進室

小・中・高等学校教員を対象とした英語資格・検定試験の特別受験制度について

標記の件につき、平成24年度から、英語資格・検定試験を実施する各団体より英語教員を対象とした特別受験制度が提供されております。令和7年度においても同制度を継続して提供いただくとともに、一部団体において、対象者や割引金額を拡充していただいているところです。

また、これまで本制度の主な対象を英語教員に限っておりましたが、教員養成段階での英語力向上も重要であることから、一部団体において、英語教員志望の学生等も対象に本制度を提供していただいております。

このたび、本制度の対象である IELTS について、新たに運営団体が加わりましたのでご連絡させていただきます。各位におかれましては、域内の市区町村教育委員会や学校等を通じて、本件についての周知を図り、教員の英語力・指導力の向上に努めていただくようお願いします。

各位におかれましては、必要に応じて関係先に周知いただくなど、ご活用いただくようお願いいたします。

## 記

- 1 新しく追加となった IELTS 試験実施団体  
パークレーハウス IELTS 公式テストセンター

- 2 対象者

学校教育法第一条に規定された学校のうち、小学校及び特別支援学校小学部の教員、並びに中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び高等専門学校に勤務する常勤の英語教員

### 3 問い合わせ先

本事務連絡全般に関する事項は、以下の本件連絡先まで御連絡ください。

試験実施に係る事項については、別紙に記載の試験実施団体の連絡先まで御連絡ください。

### 4 各資格・検定試験の概要

資格・検定等	運営団体	受験料等（税込み）	通常料金	適用回数等
英検 S-CBT	日本英語検定協会	準1級 ￥4,240 （※）	¥10,600	上限なし 対象者拡充あり(※)
英検（従来型）		1級 ￥5,000 （※）	¥12,500	
		準1級 ￥4,200 （※）	¥10,500	
IELTS	IDP Education Japan	¥19,000	¥27,500	一人一回まで
	パークレーハウスIELTS 公式テストセンター	¥23,000	¥27,500	上限なし
TEAP	日本英語検定協会	¥7,500	¥15,000	一人一回まで
ケンブリッジ英語検定	Cambridge University Press & Assessment	B2 First ￥19,888	¥24,680	上限なし
		C1 Advanced ￥21,120	¥26,400	
		C2 Proficiency ￥23,496	¥29,370	
TKT （英語教授知識認定テスト）		1モジュール ￥8,100	¥9,900	
TOEIC Listening & Reading	国際ビジネス コミュニケーション協会	¥4,070	¥7,810	上限なし （※）
GTEC	ベネッセ コーポレーション	¥7,920	¥9,900	上限なし
TOEFL iBT	ETS Japan	¥24,000 （※）	US\$195	上限なし

※昨年度より変更

詳細は各試験実施団体の資料を必ずご覧ください。

#### 【本件連絡先】

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2  
文部科学省 初等中等教育局 教育課程課  
外国語教育推進室 企画調整係  
TEL (03) 5253-4111（内線 3787）  
Email josui@mext.go.jp



学校長並びに英語担当教員の皆様

## 英語教員対象特別受験制度 2025 年度 IELTS 受験助成実施のご案内

IELTS(International English Language Testing System)は、留学や移住、就労などで英語力を証明する必要がある方に適した国際的な英語運用能力評価試験です。英語の 4 技能の総合力をはかる試験として国際的に認知度も高く、日本国内の大学受験などにも活用され始めています。パークレーハウスでは、ブリティッシュ・カウンシルのパートナーシップのもと、IELTS の試験運営を行っております。

英語のスキルアップだけでなく、授業への活用、進路指導などにお役立て頂けますので、ご興味のある先生方は、どうぞこの機会に是非弊テストセンターにて IELTS 受験をご検討ください。

### ・特別受験制度の適用について

1. 対象試験 : パークレーハウス IELTS 公式テストセンターの東京または名古屋会場で実施される IELTS(コンピューターによる試験)
2. 助成額 : **4,500 円**
3. 利用回数: **無制限**
4. 期間 : **2025 年 4 月 1 日より 2026 年 3 月 31 日までに受験**  
試験開催日はこちらからご確認いただけます。  
<https://ieltsregistration.britishcouncil.org/orsnbc?organisation=UK-PLUS-Nagoya>
5. 対象者 : 学校教育法第1条に規定された学校のうち、小学校及び特別支援学校小学部の教員、並びに中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び高等専門学校に勤務する常勤の英語教員の方。
  - ・お申し込みに際し、所定の申請書をご提出いただける方(勤務先の学校長による署名、捺印が必要です)。
  - ・お申し込みに際し、アンケートにご協力いただける方。※お申込された方が一定数に達した時点で、終了とさせていただきます場合がございます。
6. 試験結果: 受験者にのみ開示。※勤務先への試験結果開示は致しません。

## 7. 申込の流れ:

①下記メールアドレス宛てに、以下の情報をご連絡ください。

- ・メール件名:「英語教員対象特別受験制度利用希望」とご記載ください。
- ・メール本文:学校名、氏名(日英両方)、担当学年、メールアドレス、電話番号、希望受験地(東京・名古屋)
- ・メールアドレス: [ielts.testcentre@berkeleyhouse.co.jp](mailto:ielts.testcentre@berkeleyhouse.co.jp)

② ご連絡いただいた方に弊センターよりアンケートのリンクと申請書をお送りします。

③アンケートのご協力と申請書のスキャンデータのご提出を頂きましたら、申し込み方法と、受験料割引用のプロモーションコードをメールにてお知らせいたします。

④ 上記③にてご案内したプロモーションコードをご利用いただき、ご自身で受験登録・予約を行っていただけます。

※上記①～③の手続きにより、プロモーションコードを入手後は、**同一年度内であれば受け取ったプロモーションコードを何度でもご利用いただけます**(ご予約のたびに①～③の手続きを繰り返す必要はありません)。

※早割・午後割・平日割など、その他の受験料割引特典との併用はできません。

※受験料のお支払いはクレジットカード決済のみとなります。

⑤試験当日は申請書の原本をお持ちください。

## 8. ご受験の際の注意点

- ・ IELTS お申込み、ご受験の際は、必ず試験当日に有効なパスポートが必要です。
- ・ ご予約締め切りは、試験実施2日前午前 10 時となっております。尚、締め切り以前に満席になることもございますので、お早めにご予約下さい。

### ・お問い合わせ先:

バークレーハウス IELTS 公式テストセンター

メールアドレス: [ielts.testcentre@berkeleyhouse.co.jp](mailto:ielts.testcentre@berkeleyhouse.co.jp)

電話: 050-5497-1113 ※通話料はお客様負担

住所: 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-11 第2 星光ビル 8F

### ・個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いに関しましては、次のサイトをご参照ください。

<https://berkeleyhouse.co.jp/company/privacy/>



# 外国語教育はこう変わる！



## 新着動画のご案内

4本追加！



小・中・高等学校の授業動画及び解説動画を通して、授業を工夫するヒントや日頃の疑問の解消につなげていただけますと幸いです！

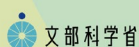
外国語教育はこう変わる！  
文部科学省／mextchannel



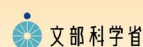
## 小中高 共通



## 小学校



言語活動を通した指導の充実に向けて  
～ALTとの**チーム・ティーチング**で  
大切にしたいこと～



## 小学校 外国語

言語活動を通して、  
「**話すこと[発表]**」における資質・能力を高める  
～個別最適な学びと協働的な学びの  
一体的な充実を図りながら～



ひたちなか市立前渡小学校  
安 絵里 教諭  
Nicholas Rentflejs (ALT)



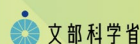
## 高等学校



## ALT向け



## 高等学校 外国語

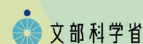


**ディスカッション**の活動をととして  
思考力・判断力・表現力等を高める



～1年生の授業より～

大阪府立天王寺高等学校  
竹林 星雄 教諭



How JTEs and ALTs Can Enhance  
Language Activities Through  
**Team Teaching**

